

8月旧盆出荷向けの赤紫色コギク新品種「常陸サマービー」

[要約]

「常陸サマービー」は花色が落ち着いた赤紫色である。切花長は「やよい」や「糸子」より長く、分枝数と花蕾数も多くボリューム感に富み、生産者と市場関係者から評価が高い。8月旧盆出荷が可能である。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成 果
区 分

普 及

1. 背景・ねらい

茨城県のコギクは、県内の切り花出荷品目では産出額が第1位、全国においても栽培面積が第2位、出荷量が第3位のシェアを占め、重要な花き品目となっている。生産現場では、7月東京盆、8月旧盆、9月彼岸の物日出荷に対応するため、100を超える品種が栽培され、栽培管理の煩雑化が問題となっている。また、民間種苗会社の品種は育成地が県外であるため、本県における需要期出荷が困難であることが多いので、生産現場からは県による育種の要望が高い。そこで、市場から求められている頂点咲きの草姿で、物日出荷に対応できる県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成15年に「桃里」を種子親に「のんこ」を花粉親にして交配し、得られた実生2個体から選抜した品種である(図1)。
- 2) 花色はRHSカラーチャートで70Aの落ち着いた赤紫色である(図1、表1)。
- 3) 開花時期は8月上旬で、「糸子」よりやや遅い(表1)。
- 4) 切花長は「やよい」や「糸子」より長く、分枝数と花蕾数も多く、ボリューム感に富む品種である(表1)。
- 5) 切り花は水揚げが悪く、蕾から花卉が展開しにくい、花持ち性をあまり重視しない8月旧盆の品種としては問題ない程度である。
- 6) 現地試験は、総合評価が中からやや良いと良好で、コギクとしてバランスのとれた評価である。病虫害発生程度が少なく、ボリュームの評価が高い(表2)。
- 7) 市場評価は、花色、ボリューム感、草姿と全ての項目において高評価である(表3)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 平成23年3月18日に品種登録された(登録番号 第20658号)。
- 2) 育成時の系統番号は「ひたち8号」および「生研9号」である。
- 3) 県内全域で栽培できるが、表1の特性値は笠間市安居におけるものである。
- 4) 種苗は、(社)園芸いばらき振興協会を通じて、県内配布予定である。

4. 具体的データ



図1 コギク「常陸サマールビー」

表1 コギク「常陸サマールビー」の特性（試験：平成20年、笠間市安居）

品 種	花色 (RHS) ¹⁾	開 花 始～終 (月・日)	切 花 長 (cm)	切 花 重 (g)	節数 (節)	分 枝 数 (本)	花 蕾 数 (輪)	花径 (cm)
常陸サマールビー	赤紫 (70A)	8.5～8.18	82.3	78.8	43.6	17.6	60.2	4.2
やよい	赤紫 (72A)	7.26～8.4	74.5	73.1	25.4	10.0	34.4	4.1
糸子	赤紫 (71B)	8.3～8.11	76.2	43.1	31.8	7.4	14.5	3.0

1) RHS カラーチャートによる。

表2 現地試験におけるコギク「常陸サマールビー」の生産者評価

試験年	導入希望 有：無	総合 評価	収量	作り やすさ	病虫害 発生	切 花 長	花色	花質	茎 葉 色	ボリュ ーム	草 姿
平成19年	3：0	3.0	3.3	3.3	3.3	3.0	2.7	3.0	2.7	3.3	3.3
平成20年	1：1	3.5	3.5	3.5	4.5	3.5	3.5	3.0	3.5	4.0	—

注) 生産者2～3名による評価。総合評価・作りやすさ・切花長・花色・花質・茎葉色・ボリューム・草姿；1：極劣，2：劣，3：中，4：良，5：極良。収量；1：極少，2：少，3：中，4：多，5：極多。病虫害発生；1：甚，2：多，3：中，4：少，5：無。

表3 コギク「常陸サマールビー」の市場評価（試験年次：平成19年）

花色	花の大きさ	花の形	花数	茎葉の色	ボリューム感	草姿	総合評価
良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い	良い

注) 評価者数は5名。評価者の結果を良い、やや良い、普通、やや悪い、悪いの5段階化した。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

- 1) 本県小ギク産地活性化のためのブランド品種の育成・平成14～平成19年度・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 2) 新品種育成普及促進事業・平成6年度～・生物工学研究所果樹・花き育種研究室
- 3) 新品種育成普及促進事業・平成19年度～・園芸研究所花き研究室